

第 82 回新型コロナウイルスに関わる対策本部会議議事録

1 開催日時 令和 4 年 11 月 16 日（水） 午後 1 時 00 分～午後 1 時 30 分

2 開催場所 浦安市役所 災害対策本部室

3 出席者

本部長：市長

副本部長：両副市長

本部長：危機管理監、消防長、教育長、総務部長、企画部長、財務部長、
市民経済部長、福祉部長、健康こども部長、環境部長、都市政策部長、都市整備部長、
教育総務部長、生涯学習部長、会計管理者、議会事務局長、監査委員事務局長、選挙管理
委員会事務局長

(事務局)

健康こども部、総務部

4 議 題

(1) 直近 3 週間の学校等の感染者状況について

(2) その他

- ・新型コロナワクチンの接種状況について
- ・ノババックスワクチンの 4 回目以降の接種実施及びモデルナ製オミクロン株対応 2 価
ワクチンについて
- ・病床確保のフェーズについて
- ・抗原検査キット使用状況について

5 議題の概要

(1) 直近 3 週間の学校等の感染者状況について情報を共有した。

(2) その他

- ・新型コロナワクチンの接種状況について情報を共有した。
- ・ノババックスワクチンの 4 回目以降の接種実施及びモデルナ製オミクロン株対応 2 価
ワクチンについて情報を共有した。
- ・病床確保のフェーズについて情報を共有した。
- ・抗原検査キット使用状況について情報を共有した。

6 会議経過

(1) 直近3週間の学校等の感染者状況について

本部員：10月26日から11月15日の直近3週間の感染状況について、保育園・幼稚園等、小学校及び中学校の合計は10月26日から11月1日で83人、11月2日から8日で87人、11月9日から15日で66人、合計236人である。10月26日以前の直近3週間の感染者数と比較して約2倍の増加傾向である。また、市内高齢者施設においてクラスターが発生している。

本部長：職員の感染状況はどうか。

本部員：新型コロナウイルスによる休暇取得が全体で16名おり、このうち正規職員は6名となっている。なお、消防では先週比で若干増加している。

本部員：学級閉鎖について、昨日まで2校2学級、本日の時点で1校1学級である。

本部員：市内保育園において、先週2クラスを閉鎖していたが、現在は解除している。

本部長：感染者数について、東京で昨日は1万人を超えるなど増加傾向にあり、引き続き、警戒を続ける必要がある。

(2) その他

・新型コロナワクチンの接種状況について

本部員：乳幼児（6か月～4歳）への初回接種については、11月14日から接種を開始している。小児（5歳～11歳）の3回目接種も11月1日より開始しており、現在の接種率は5.4%である。オミクロン株対応2価ワクチンの接種状況については、12歳以上の接種率が8.9%、予約状況を含めると17.5%となっている。60歳以上または基礎疾患患者への5回目接種について、前回接種から3か月を迎える接種対象者に対して11月9日に約35,000通を発送した。これにより、60歳以上の接種率が大幅に上がることが見込まれる。

本部長：予約サイトやコールセンターについて、先日の老人クラブ訪問で電話がつながりにくいという話を聞いているが、状況はどうなっているか。

本部員：予約サイトについては、一時的につながりにくい状況であったが、先週金曜日頃からは通常どおり運用できている。コールセンターは、最高で100人待ち（約30分待ち）という状況が一時的に発生していた。昨日の時点では最高で20人待ち（約10分待ち）となっており、状況は落ち着いてきている。予約サイトやコールセンターが一時的につながりにくくなっている状況については、ホームページやツイッター等で周知を行っている。

- ・ノババックスワクチンの4回目以降の接種実施及びモデルナ製オミクロン株対応2価ワクチンについて

本部員：ノババックスワクチンについて、これまで初回接種（1・2回目接種）を終えた方への3回目用として既に接種を行っていたが、オミクロン株対応2価ワクチンと同様に3～5回目の接種を可能とする接種法上の改定があり、11月8日に適用が開始された。厚生労働省からの資料によると、今後は3～5回目の接種が「令和4年度秋開始接種」として位置づけられ、初回接種が終了している者に対して1人1回の実施を基本として、その後更なる追加接種は行われぬ。また、接種間隔は6か月となっており、ノババックスを接種した場合は他のオミクロン株対応2価ワクチンは接種不可となる。これを受けて、11月11日時点で3回目接種としてノババックスワクチン接種を予約済みの市民50人に対して電話で連絡を取り、予約したノババックスワクチンを接種すると4回目接種ないし他のオミクロン株対応2価ワクチンの接種が不可能となる旨を説明した。予約済みの50人中13人が予約内容を変更し、34人は変更せずそのまま接種する。残りの3人は現在確認中である。このことについては、市のホームページや予約フォームにおいて周知を行っている。ノババックスワクチン接種を実施している市内3医療機関においても、ノババックスワクチンを接種する人に対して事前に説明し、確認した上で接種するように通知している。

続いて、モデルナ製オミクロン株対応2価ワクチンについては、予防接種法上の特例臨時接種にモデルナ製のワクチンが位置付けられることとなり、令和4年11月28日より接種が可能であると国から通知があった。本市としては、従来どおり、個別接種と集団接種で使用するワクチンは、ファイザー製のオミクロン株(BA. 4-5)対応2価ワクチンとする。モデルナ製ワクチンは、市内医療機関に勤務する市外に住民票を有する医療従事者に対して使用する。

- ・病床確保のフェーズについて

本部長：令和4年11月8日付けで、千葉・東葛南部・東葛北部圏域における病床フェーズがフェーズ1からフェーズ2Aに引き上げられた。その後、11月15日付けで、千葉県全域でフェーズ2Aに引き上げられることとなった。

- ・抗原検査キットの使用状況について

本部長：11月15日時点で、785キットを使用し、陽性者が48名の状況である。児童生徒が52増加、介護事業サービス事業者で1増加の合計53の増加となっている。

本部長：千葉県より、高齢者施設と障がい者施設の職員を対象として、無料で抗原検査キットを配布する旨、市内の各事業所に通知されている。内容としては、週2回の検査を3か月程度実施する場合、職員数に応じて必要となる個数を配布するというもので、申込期間は、今週の金曜日までとなっている。通知が届いていると思われる事業所数は、高齢者施設で170事業所、障がい者施設で46事業所である。

本部長：県事業の対象とならない施設がある場合は、市で保有する抗原検査キットを配布すること。

本部長：救急出動状況について確認したい。

本部長：コロナ関連における救急出動状況は、先月10月と比較し、11月から現在に至るまで若干の増加があるものの、出動から病院到着まで1時間以上要した事案はないことから、今のところ待機場所テントの設置は考えてはいない。

本部長：今後の状況を見ながら判断をすること。

本部長：現在、国が医療負荷レベルに応じて、都道府県知事が新たな「宣言」を出せることを検討している。千葉県が、その宣言を出した場合の市の対応について検討しておくこと。

7 決定事項

- ・ノババックスワクチンの4回目以降の接種実施やモデルナ製オミクロン株対応2価ワクチンについて、引き続き、接種体制を確保すること。

- ・新型コロナウイルス感染症の感染者が拡大傾向であるため、第8波に備えるとともに、今後も国や県の動向に注視すること。
- ・国から示される新たな宣言を千葉県が出した場合の市の対応について検討しておくこと。